



番組発表会の今をお届け！

OBOG会新体制が始動！



前期番組発表会

6月7日。前期番組発表会が行われました。今年度前期の番組発表会では、放研らしさと集大成としての熱量が詰まった舞台が繰り広げられました。プロデューサー・ディレクターを務めた71期の2人からは、企画に込めた想いや舞台への思いが語られました。

★プロデューサー・遠藤菜々コメント↓

前期番組発表会は、私たち71期にとっては形式上引退となる最後の番発だったため、プロデューサーという立場に大きなプレッシャーを感じていました。そのうえ、71期72期合わせて100人以上が参加をしてくれていたこともあり、リハーサルが始まったばかりのときには不安ばかりがありました。真剣に番発に取り組む同期や後輩の姿を見て、これまでに培った経験値や構築してきた関係を強く感じ、すぐプロデューサーという役割に自信を持つことができました。『からから』という作品は喜怒哀楽をはじめとした人間の感情、とりわけ笑いにフォーカスした舞台でしたが、そのテーマ通り会員全員が笑顔で本番を終えることができた、思い出深く、私の人生に大きな影響と財産を与えてくれた、集大成となる番組発表会を作り上げることができたと思います。

★ディレクター・永井はなコメント↓

前発は、71・72期で最後の番発でした。「笑」をテーマに2学年一団となって無事に成功させました。今までよりも準備を早め、映像制作や美術にも力を入れました。リハの進行もアップデートして演技の練習やFB時間を増やしました。タッカーホールというのもあり、普段よりリハ職の負担が大きく緊張感のある番発だったと思いますが、素敵なアイデアや妥協のない調整を繰り返し全員にとって達成感のある舞台になったと思います。企業の方や他大学の方も呼び寄せて放研の個性や技術を発表できる機会となりました。私もディレクターとしてやりたいことをやり切れて大学生活の中でかけがえのない思い出になりました。



夏期番組発表会

8月27日に夏期番組発表会が行われました。今回の番発のタイトルは『そうた、単位賭けるってよ』。単位や夏休みの長さなど学生生活のすべてがギャブルで決まるという奇想天外な制度が導入された大学を舞台に、そんな制度を変えるため、ポンコツ大学生そうたが仲間と共に数々の勝負に挑む——笑いあり友情ありの物語が繰り広げられました。

★プロデューサー 祖田遥星 コメント↓

僕の目標は、73期同士が仲良くなること、そして73期と72期が交流を深めることでした。その思いが少しでも形になっていたら嬉しいです。求めることが多く、73期にとっては大変な部分も多かったと思いますが、全員が最後までやり遂げてくれました。この夏番に参加してくれたみんなには感謝の気持ちでいっぱいです。

★ディレクター 滝沢新太 コメント↓

今回、祖田と最初に決めた裏目標は、みんなが楽しんで、仲良くできる場にあることでした。実際、73期のメンバーが番発に真剣に向き合い、楽しみながら取り組んでいる姿がとても頼もしく感じられました。支えてくれた72期のみんなにも心から感謝しています。最高の夏の思い出になりました。



映像作品介绍～前発編～

先日の前期番組発表会では、MV・CM・企画・ドラマなど多彩な映像作品も披露され、会場は大いに盛り上がりました。その中で見事PD賞に輝いたのが「Uber Eats」のCMです。

制作を担当した方にインタビューしたところ「それぞれの人の素のキャラクターを出しつつ、クスッと笑えるように工夫しました。短いコマでも伝わるよう意識し、画角を変えて“誰だろう？”と思わせる仕掛けもしました」と振り返ります。完成した映像には遊び心とテンポの良さが詰め込まれており、会場からも笑い声が上がっていました。受賞については「驚きましたが、工夫した点を評価してもらえたのが嬉しかった」と話してくれました。

それ以外の作品も非常にクオリティが高く、何度も見返したくなる作品です。





📷RBC機材紹介📷

★タリーランプを導入しました。

ライブ配信やテレビ番組の現場ではおなじみのこのタリーランプですが、今回の導入によって、どのカメラが現在使われているのかを出演者やカメラマンがリアルタイムで把握できるようになりました。これにより、カメラマンは的確にフレーミングを調整でき、出演者側もどのカメラに向かって話せばよいのかが一目でわかるため、より自然で臨場感のある映像表現が可能になります。また、演出の自由度も大きく広がり、シーンに応じた細かな表情や動きの演出がしやすくなるなど、全体のクオリティ向上にもつながっています。今後は、このタリーランプを活用しながら、よりスムーズで魅力的な映像制作を目指していきます。

★部室はいつも綺麗な状態です！

右の写真は現在の部室の様子です！スタジオ管理担当を筆頭に、番発前などにメンテナンスを行い常に綺麗な状態が保たれています。その美しさは在籍史上格段！スタジオ管理担当の努力の賜物だと言えます。



OBOG会について

昨年11月に70周年を迎えた立教大学放送研究会は、昨年度よりOBOG会が新体制となりました。新たに中山氏を会長に迎え、学生も含めた理事会や事務局の体制を整え、より充実した活動を目指しています。ここで、新会長・中山氏からのコメントをご紹介します。

中山準之助 2004年卒（社会学部産業関係学科）

昨年11月30日に開催しました「立教大学放送研究会70周年記念OB・OG会」では多くの皆さま方から多大なるご協力とご支援も賜りまして誠にありがとうございました。桜田前会長からバトンを受け継ぎ、新たに立教大学放送研究会OB・OG会の会長を拝命しました中山です。

今年は新たな体制のOB・OG会がスタートしまして、新たに役員を選出、組織運営を見直して、現役学生にも事務局運営に参加してもらうなど、より一層、現役生と、OB・OGとの交流を盛んにできるよう邁進中であります。心強き三宅会長はじめ現役学生の皆さんから既にさまざまな提案をもらっております。OB・OG会の中でのつながりの益々の発展はもちろんですが、今後、現役生の就職に向けた相談等にもより一層応えられる組織にしたいとも考えておりますので、どうぞご活用ください。これからもどうぞ宜しくお願いします。



ご支援のお願い

October 2025

立教大学放送研究会2025学園祭営業部

Request for Your Support

平素より立教大学放送研究会の活動に多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。このたび、OB・OGの皆様とのつながりをより深め、現役の活動をさらに発展させていくため、年1回の会報誌を創刊いたしました。

私たち放送研究会は、70年以上の歴史を持つ伝統あるサークルとして、毎年11月の学園祭においてステージイベントを企画・運営しています。近年は芸能人ゲストを招いた企画や、大規模な映像・音響演出など、ステージのクオリティを高める挑戦を続けております。しかし、物価高や機材費の高騰などにより、運営費の確保が大きな課題となっております。つきましては、学園祭ステージのさらなる成功のため、OB・OGの皆様へ寄付によるご支援を賜りたく、お願いいたします。

Ways to Support

🔍 ご支援の方法

ご寄付：一口2,000円から承っております。

ご寄付に際して、銀行振込によるご入金を正しく確認させていただくため、下記フォームより寄付金額およびご寄付者様情報のご申告をお願いいたします。どうかお力添えいただけますと幸いに存じます。

<https://forms.gle/EZsb4h7Ch4b5PDf8A>

フォームには、こちらのQRコードからもアクセスいただけます。ぜひご利用ください。→



Utilization of Support

🔍 ご支援の用途

いただいたご厚意は、以下の活動資金として活用させていただきます。

- ・映像・音響・照明機材のレンタル費用
- ・ステージで放映する映像の制作費
- ・衣装、大道具・小道具の購入や製作費

Gifts of Appreciation

🔍 返礼について

ご支援いただいた皆様には、感謝の気持ちを込めまして、学園祭ステージへご招待いたします。ぜひ当日ご来場いただき、学生たちの晴れの舞台をご覧くださいませ幸いです。

📝 最後に

放送研究会の活動は、OB・OGの皆様が築いてくださった歴史の延長線上にあります。現役一同、伝統を守りながらも新たな挑戦を重ねていくため、どうか温かいご支援を賜れますと幸いです。